

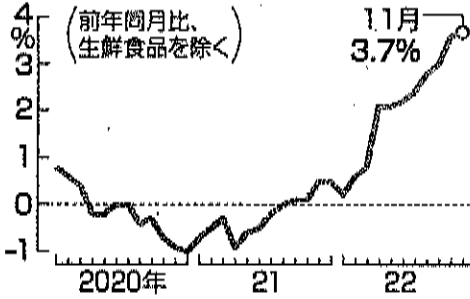
消費者物価 3.7%上昇

11月食料値上がり41年ぶり伸び

総務省発表

総務省が23日発表した11月の全国消費者物価指数(2020年=100)は、価格変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が103.8と、前年同月比3.7%上昇しました。原材料高や食料品の値上がりなどが要因。上昇は15カ月連続で、伸び率は第2次石油危機による物価高が続いていた1981年12月以来、40年11カ月ぶりの大きさを

全国消費者物価指数の推移



りました。項目別では、生鮮食品を除く食料が6.8%上昇と、81年2月以来の高水準。11月に大手各社が値上げに踏み切った牛乳は9.5%上昇で、10月(0.4%上昇)から跳ね上がりました。食パンは14.5%、食用油は35.0%それぞれ上昇しました。

エネルギーは13.3%上昇。全体の伸びは前月から鈍化しましたが、都市ガス代は28.9%上昇、電気代も20.1%上昇と大幅な値上がりが続きます。ガソリンは1.0%下落と1年9カ月ぶりにマイナスに転じました。